

F 仕事と生活の調和について

問 20 あなたは、生活の中で仕事と個人の生活（家庭、地域活動など）でどちらを優先しますか。
 （１）あなたの希望と（２）現実（現状）に最も近いものをそれぞれお答えください。
 （それぞれについて〇は１つ）

（１）希望（〇は１つ）

「仕事と個人の生活をともに優先したい」が 48.8%で最も高く、次いで「個人の生活を優先したい」が 36.6%となっています。

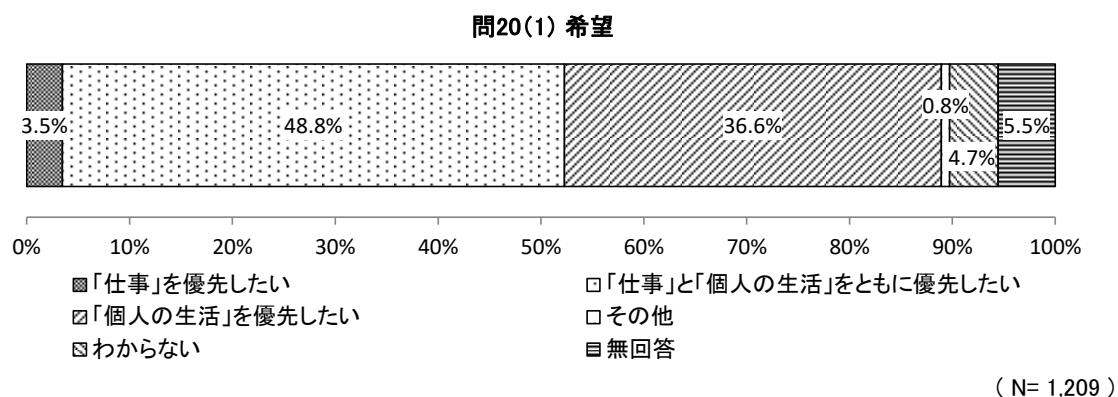
性別では、いずれも「仕事と個人の生活をともに優先したい」が最も高いものの、その割合は男性が女性を上回り、「個人の生活を優先したい」は、女性が男性を上回っています。

年代別では、「仕事を優先したい」が全ての年代で 1 割以下となっており、10 代では「仕事を優先したい」と回答した人はいませんでした。

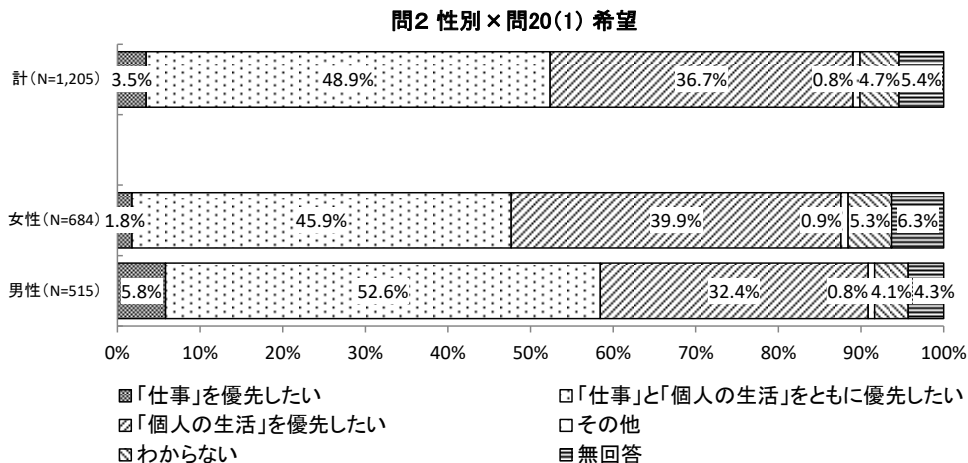
配偶関係では、「仕事と個人の生活をともに優先したい」については大きな差異はありませんが、「個人の生活を優先したい」については、未婚の方が最も高く 41.2%であるのに対し、既婚の方は 35.9%、離別又は死別している方は 29.3%となっています。

勤務地別では、大阪府外の方は「仕事を優先したい」が 8.7%で、ほかと比べてやや高くなっています。

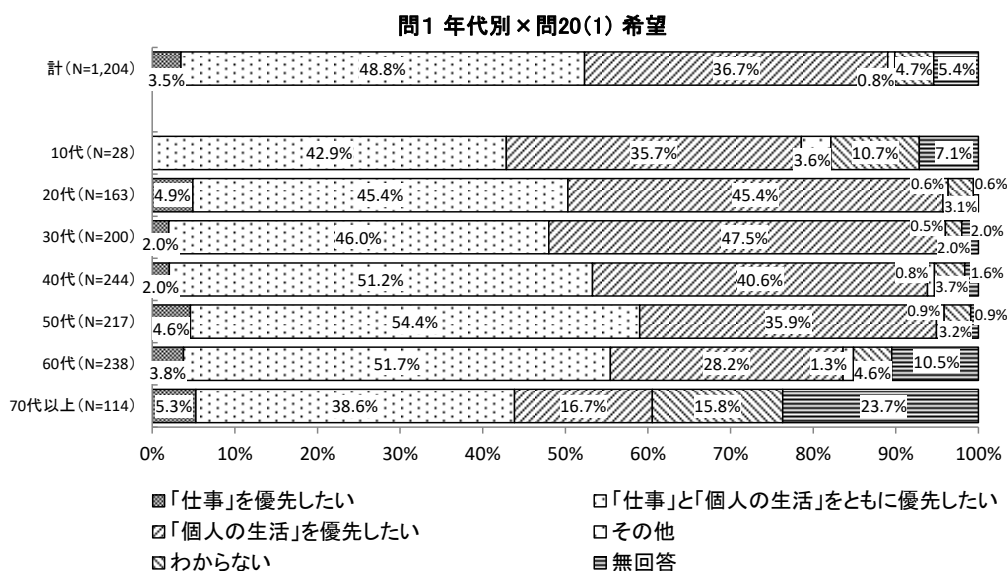
<全体>



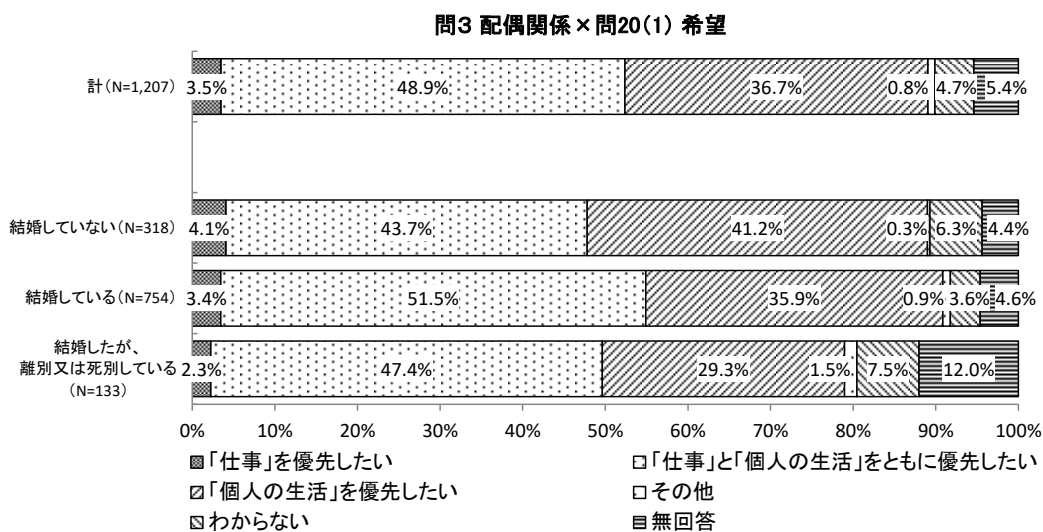
<性別>



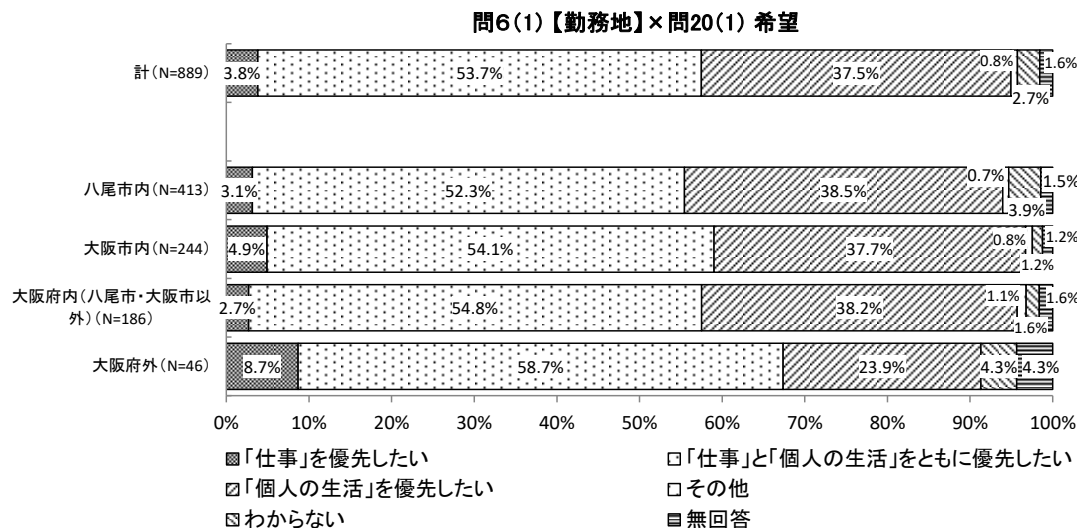
<年代別>



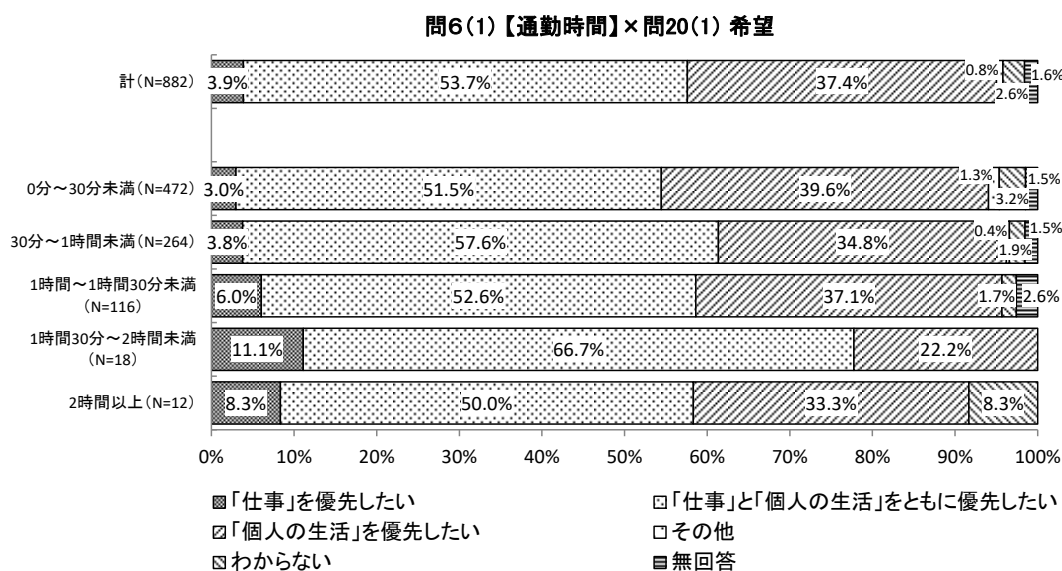
<配偶関係>



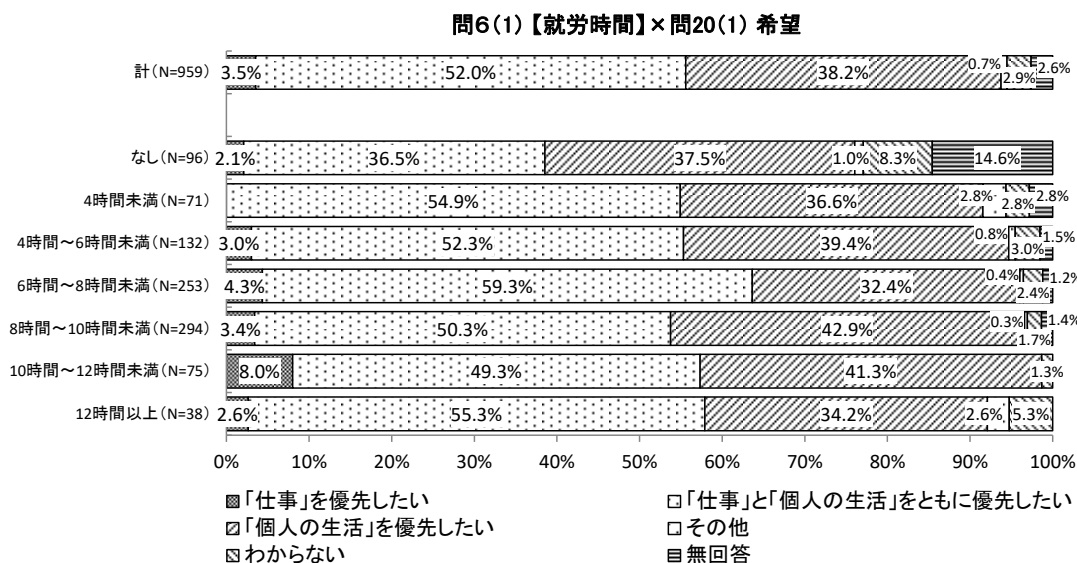
<勤務地>



<通勤時間>



<就労時間>



(2) 現実（現状）（○は1つ）

「仕事を優先している」が32.8%で最も高く、次いで「仕事と個人の生活をともに優先している」が25.7%となっています。

性別では、女性は「仕事と個人の生活をともに優先している」が27.6%、「個人の生活を優先している」が27.0%でほぼ同率であるのに対し、男性は「仕事を優先している」が最も高く43.5%となっています。

年代別では、特に40代は「仕事を優先している」が42.2%で最も高くなっています。

配偶関係では、いずれも「仕事を優先している」が最も高く、「個人の生活を優先している」は既婚の方の割合が高くなっています。

勤務地別では、大阪府内（八尾市・大阪市以外）の方は「仕事を優先している」が51.6%で最も高くなっています。一方、「仕事と個人の生活をともに優先している」は八尾市内の方が最も高く35.8%となっています。

通勤時間別では、通勤時間が1時間30分～2時間未満の方は「仕事を優先している」が66.7%で最も高くなっています。一方、通勤時間が2時間以上の方は、「仕事を優先している」と「仕事と個人の生活をともに優先している」がいずれも33.3%となっています。

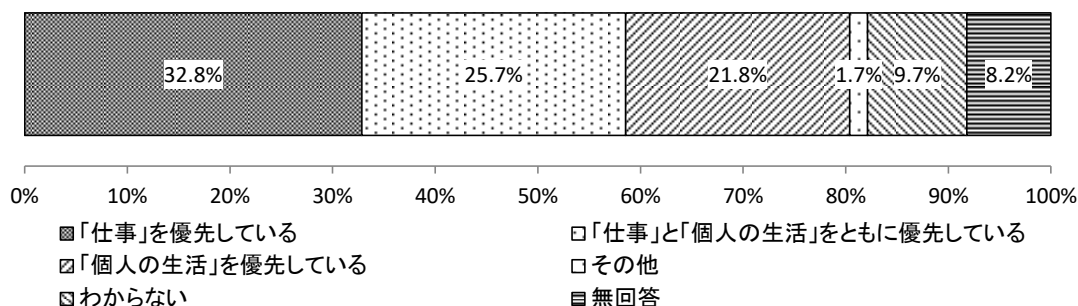
就労時間別では、就労時間が10時間～12時間未満の方は「仕事を優先している」が70.7%で最も高くなっています。

希望と現実（現状）の比較

希望では、「仕事を優先したい」は3.5%であるのに対して、現実（現状）では、32.8%と、希望と現実（現状）に大きなギャップが生じています。同じく、「仕事と個人の生活をともに優先したい」、「個人の生活を優先したい」についても、現実（現状）は希望よりも低い割合に留まっており、希望と現実（現状）にギャップが生じています。

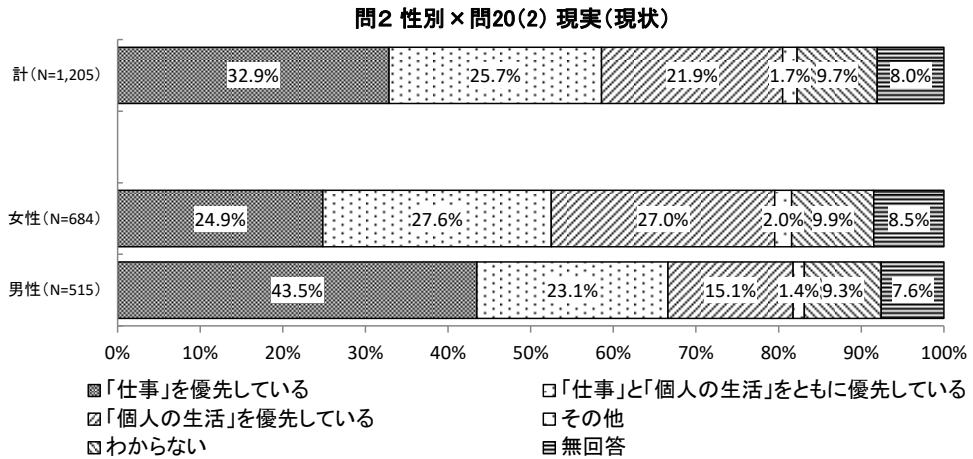
<全体>

問20(2) 現実(現状)

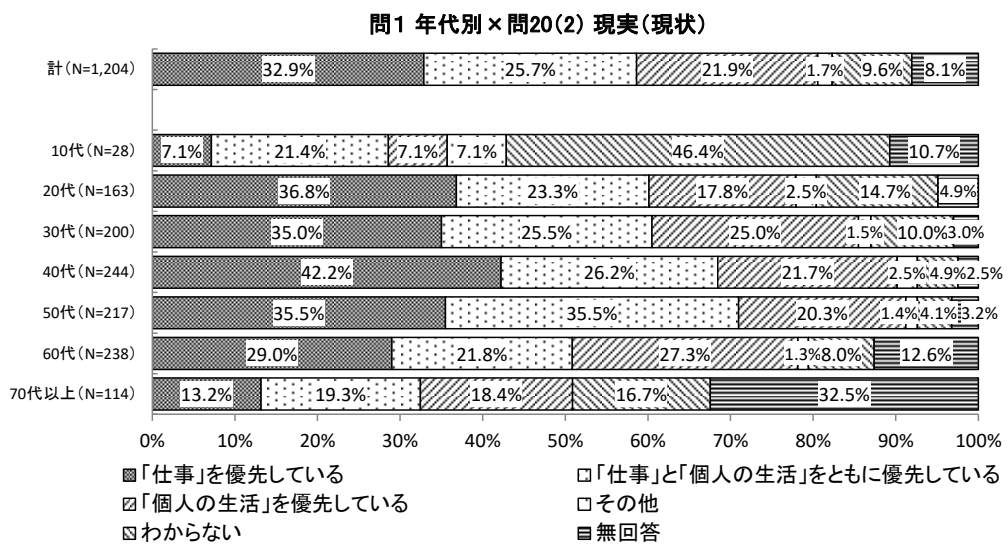


(N= 1,209)

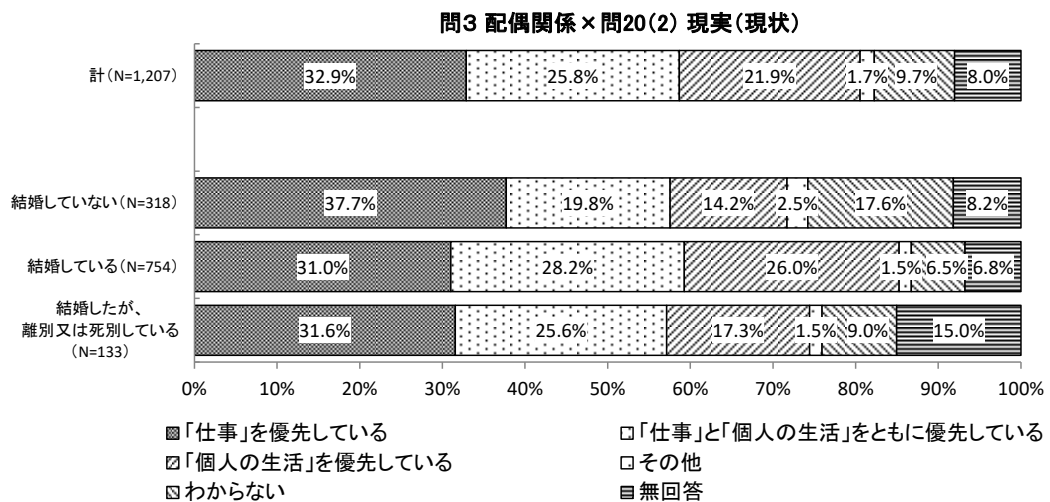
<性別>



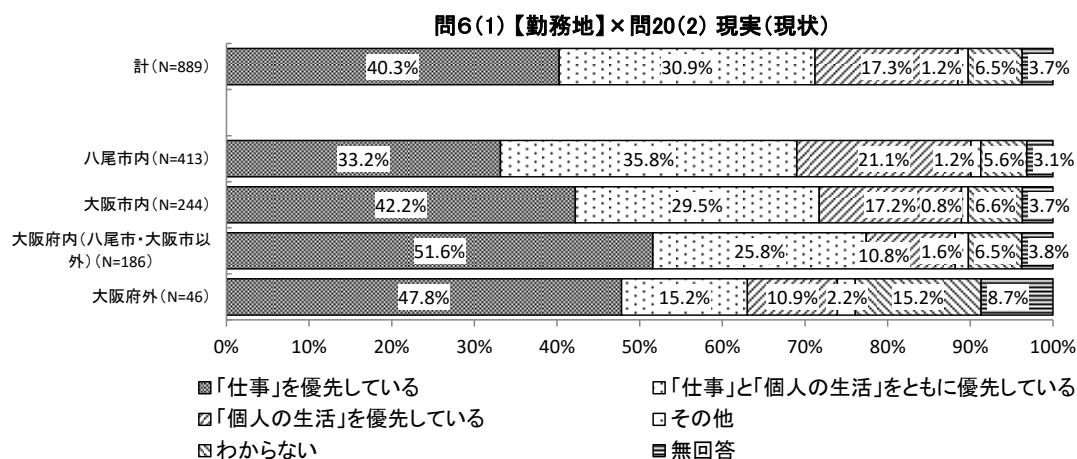
<年代別>



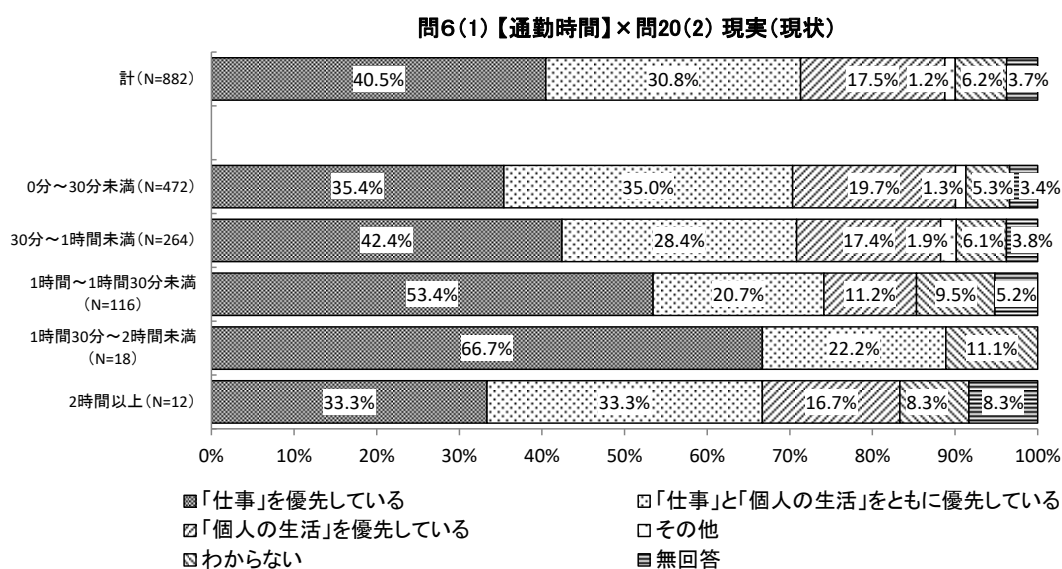
<配偶関係>



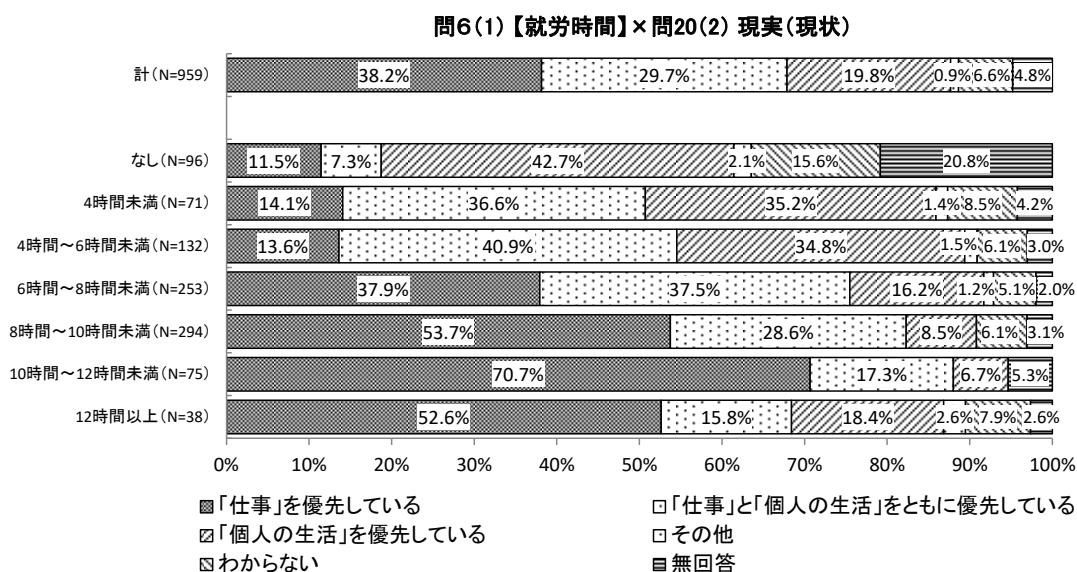
<勤務地>



<通勤時間>



<就労時間>



問 21 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

「男性が家事、子育て、介護、地域活動に参加することについて、社会における意識を高めること」が46.2%で最も高いものの、大きな差異はありません。

性別では、「小さいときから男性に家事や子育てに関する教育をすること」は女性が48.2%であるのに対し男性は32.4%、また「男性が家事、子育て、介護、地域活動に参加することについて、社会における意識を高めること」は女性が50.7%であるのに対し男性は40.6%で、それぞれ女性が男性を上回っています。一方で、「労働時間の短縮などを進め、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」は女性が35.7%であるのに対し、男性が38.6%、「特に必要ない」は女性が3.4%であるのに対し、男性が4.7%で、それぞれ男性が女性を上回っています。

年代別では、「男性が家事、子育て、介護、地域活動に参加することについて、社会における意識を高めること」が、年代を問わず比較的高くなっていますが、20代は「家族の間で家事などの分担をするように十分話し合うこと」、30代は「小さいときから男性に家事や子育てに関する教育をすること」が最も高くなっています。

配偶関係では、「男性が家事、子育て、介護、地域活動に参加することについて、社会における意識を高めること」で既婚の方、離別又は死別している方がそれぞれ48.0%、46.6%、「小さいときから男性に家事や子育てに関する教育をすること」では離婚又は死別している方が47.4%となっています。

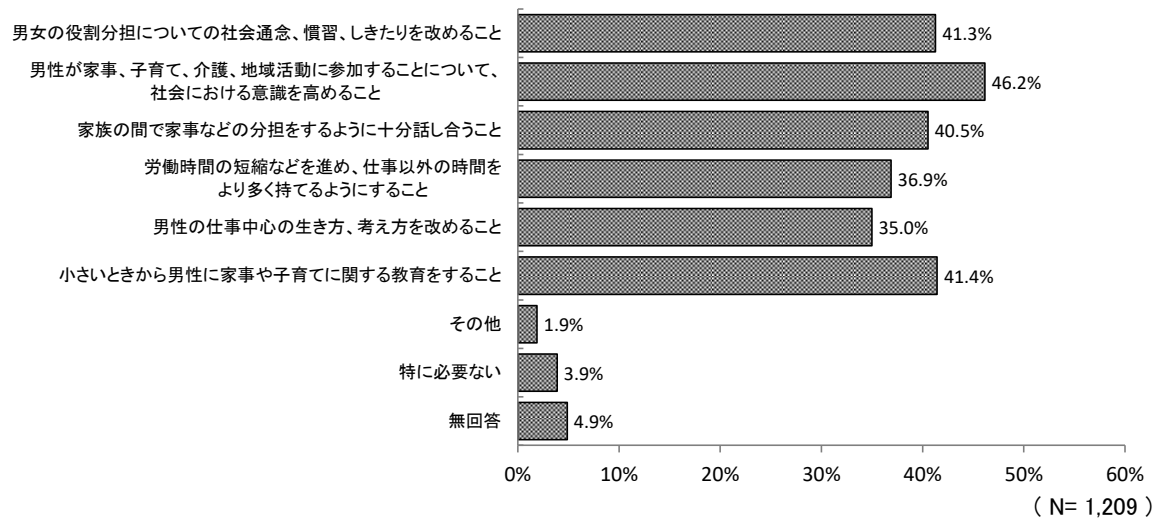
勤務地別では、「家族の間で家事などの分担をするように十分話し合うこと」で、勤務地が大阪府外の方が他に比べて10%以上高くなっています。

通勤時間別では、「家族の間で家事などの分担をするように十分話し合うこと」「労働時間の短縮などを進め、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」で、通勤時間が2時間以上の方が58.3%で最も高くなっています。

就労時間別では、「家族の間で家事などの分担をするように十分話し合うこと」で就労時間がない方、4時間未満の方はそれぞれ51.0%、50.7%で最も高いのに対し、就労時間が4時間～12時間の方は「男性が家事、子育て、介護、地域活動に参加することについて、社会における意識を高めること」が最も高く、就労時間が12時間以上の方は「小さいときから男性に家事や子育てに関する教育をすること」が63.2%で最も高くなっています。なお、就労時間が6時間～8時間の方は「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」も同率で最も高くなっています。

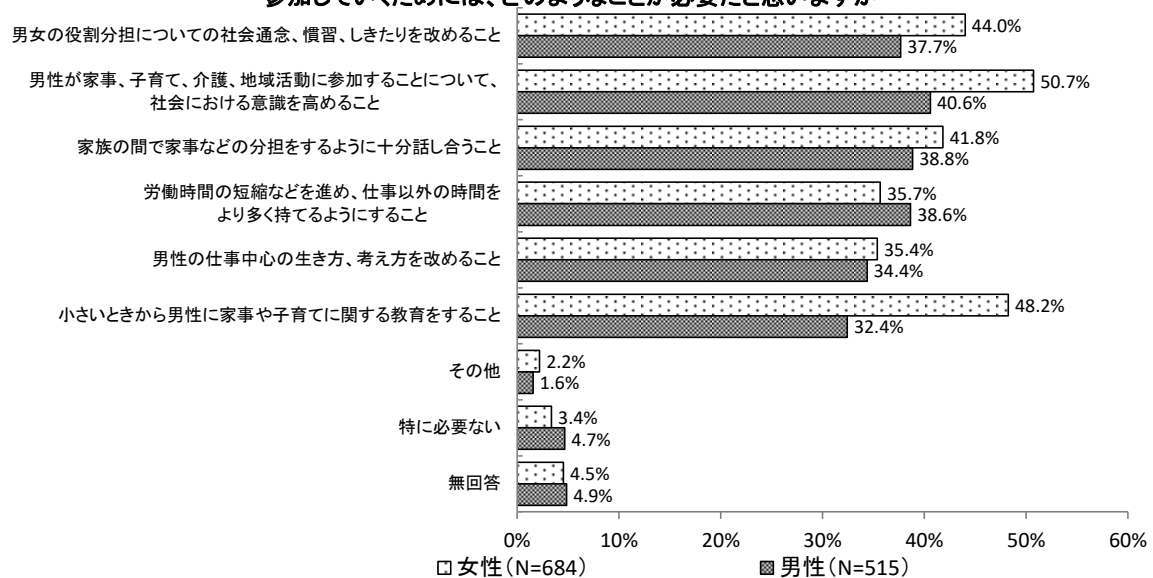
<全体>

問21 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、 どのようなことが必要だと思いますか



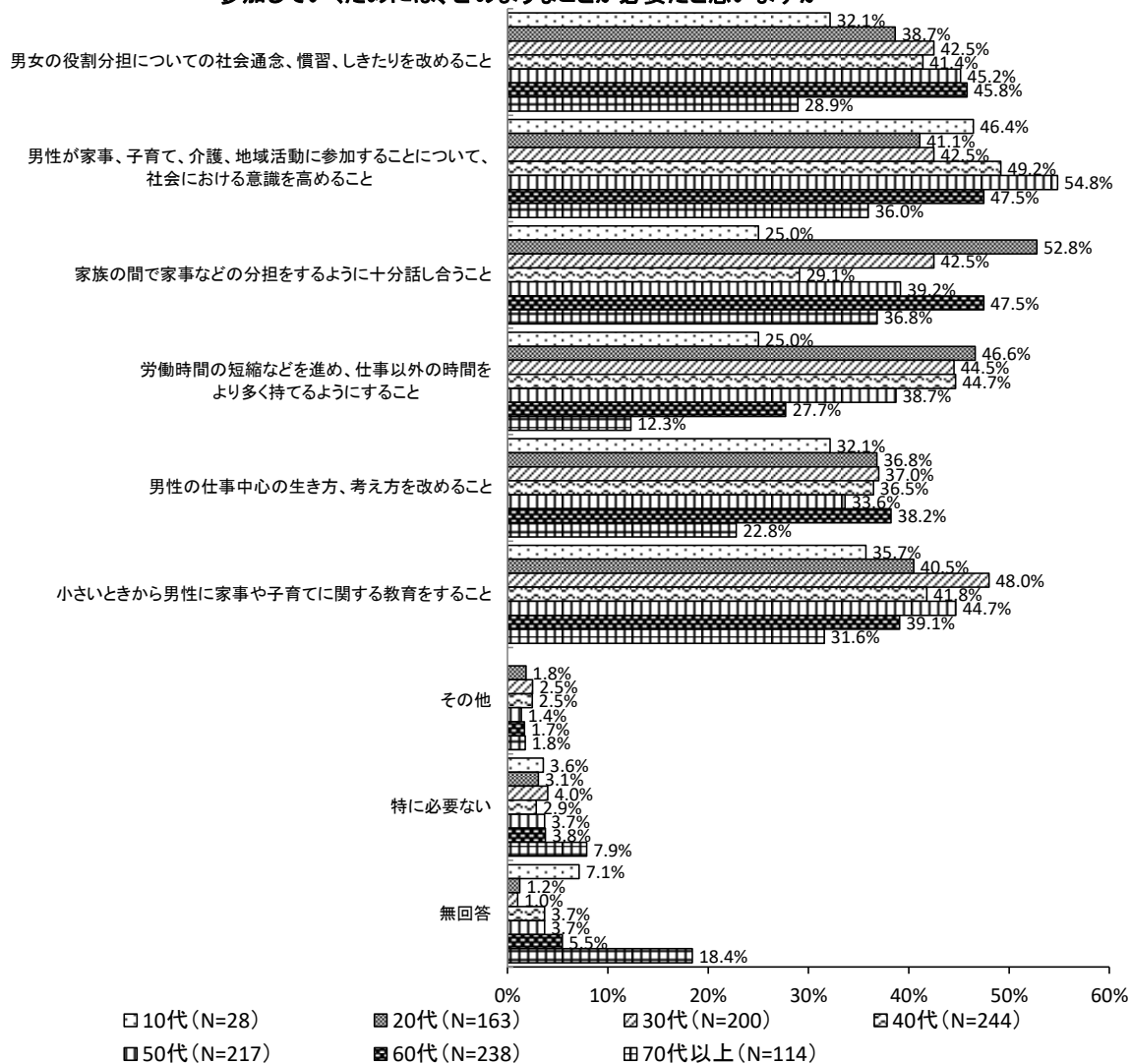
<性別>

問2 性別×問21 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に 参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか



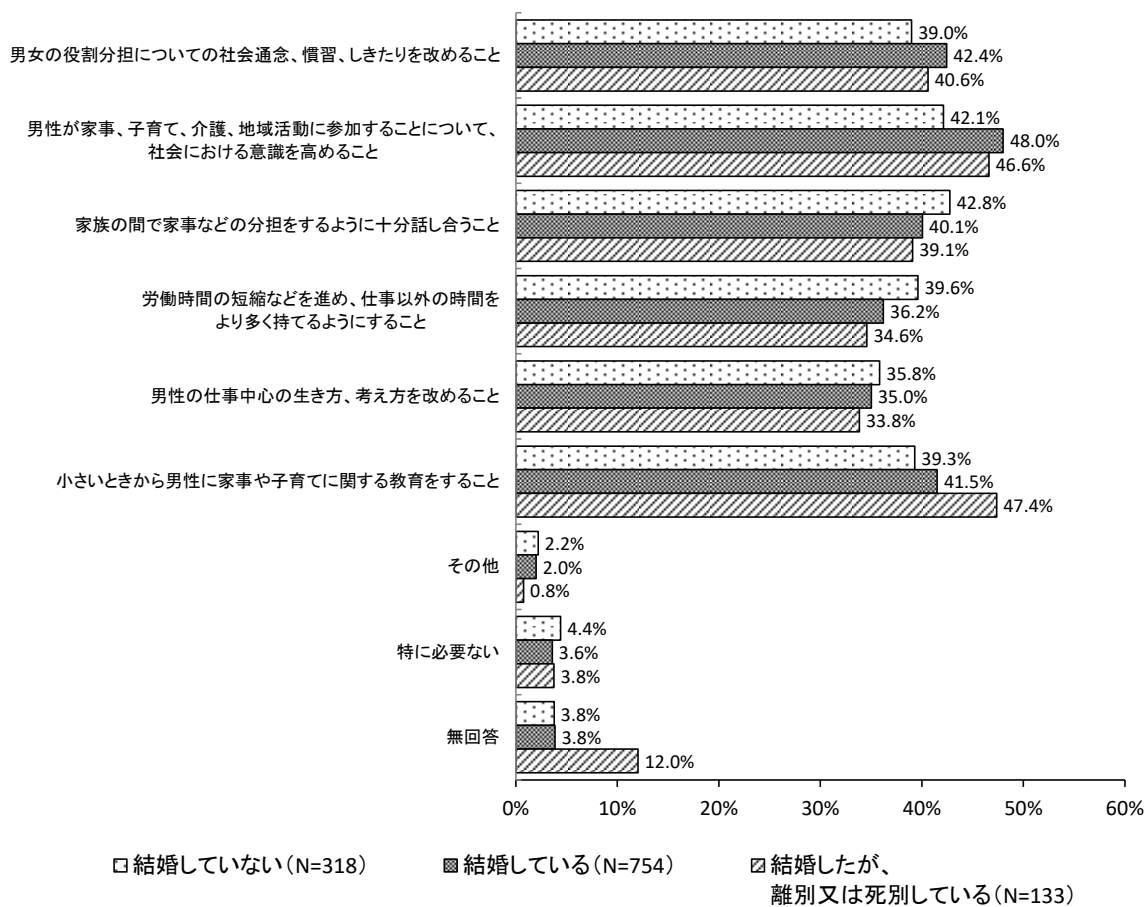
<年代別>

問1 年代別×問21 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか



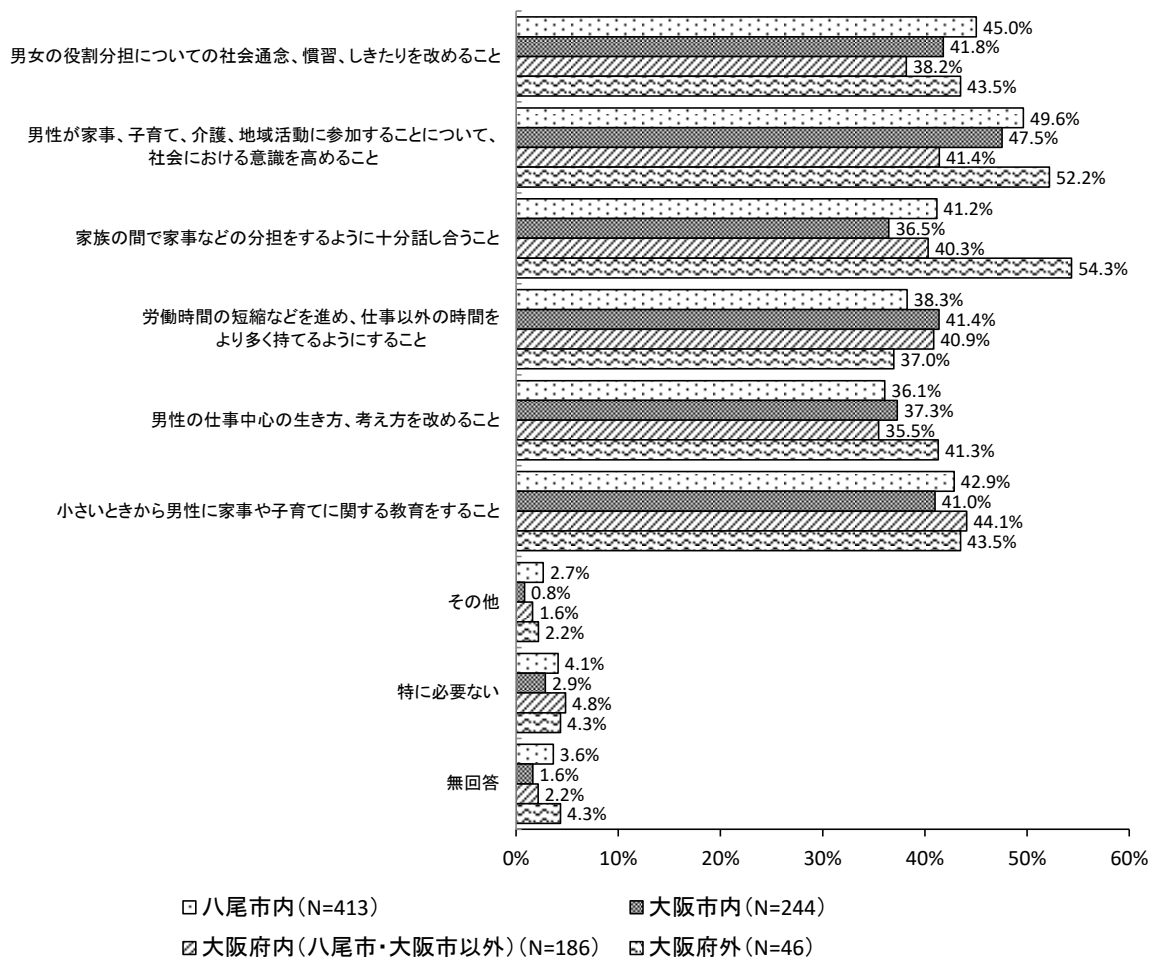
<配偶関係>

問3 配偶関係×問21 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか



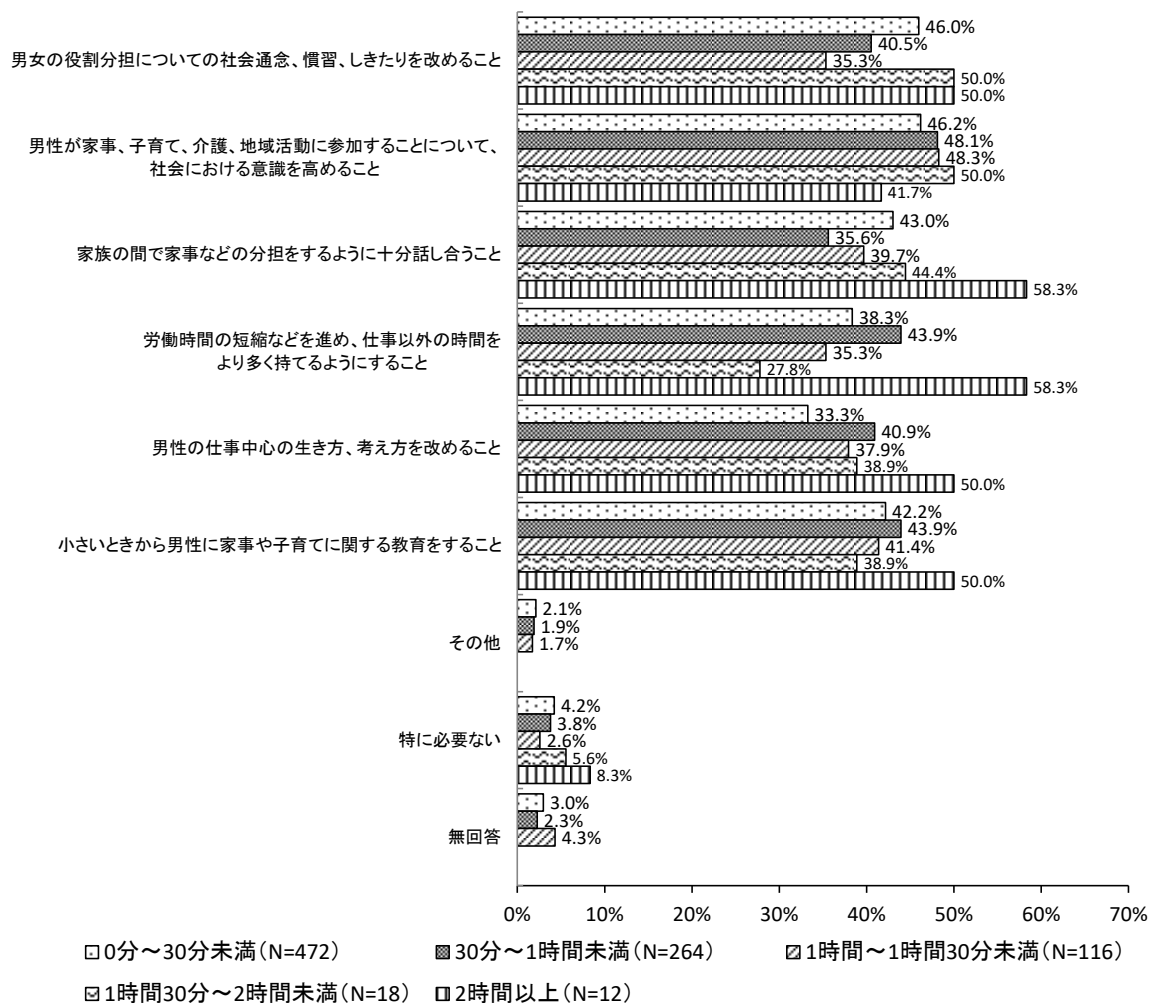
<勤務地>

問6(1)【勤務地】×問21 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか



<通勤時間>

問6(1)【通勤時間】×問21 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか



<就労時間>

問6(1)【就労時間】×問21 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか

